



フレームの拡張

ひとから人間組織に情報が届く

必ずしも「配達」を意味しない

→「ナニがどこに届いたのか」、着点に視点

「出版社に毎日届く喜びの声」

【人称制限】

【平叙文】

1人称 > 2人称 > 3人称の優先順位

「～に」格名詞句 > 「から」格名詞句

「* 私から弟に届いた小包」

「弟から(私に)届いた小包」

→「私に」がなくてもその意味が出る

【人称制限】

【疑問文】

2人称 > 1人称 > 3人称の優先順位

「～に」格名詞句 > 「から」格名詞句

「私からの小包が(あなたのところに)届きましたか」
→「あなたのところに」がなくてもその意味が出る

【人称制限】

【伝播の意味からの拡張】

→ {思い、気持ち、心、声、願い、祈り} が相手に届く

- ・1人称 > 2人称 > 3人称の優先順位
- ・「から」格名詞句 > 「～に」格名詞句

「* 彼の気持ち/思いが私に届いた」

「私の気持ち/思いが彼に届いた」

「* 彼の祈りが私に届いた」

「私の祈りが神に届いた」

「信者から天に届いた願い」

「友達から気持ちが片思いの相手に届いた」

→ いずれも前者(信者、友達)のほうが、
後者(天、片思いの相手)よりも視点が置きやすい